

『人工膝関節全置換術後患者の持続的他動運動療法のプログラム変更の有効性』

【目的】人工関節全置換術を受けた患者さんの術後の可動域訓練の方法が変更となっている。プログラムが変更となった後と、変更前の患者さんの膝の可動域を比較して、有効性を検討する。

【期間】2025 年 12 月 10 日～2026 年 3 月 31 日

【方法】

＜対象となる患者さん＞

2023 年 4 月 1 日から 2024 年 10 月 31 日までに 4 階病棟で入院して、人工関節全置換術を受けた患者さん。また、2024 年 11 月 1 日以降で 4 階病棟に入院して、人工関節全置換術を受けた患者さん。

＜研究に用いる試料・情報の種類＞

試料：なし

情報：術前、術後 1 週目、術後 2 週目の人工関節全置換術を受けた膝の関節可動域や年齢、性別

【試料・情報の管理責任者】

独立行政法人地域医療機能推進機構 星ヶ丘医療センター
院長 細野 昇

◎研究への参加について

この研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、遠慮なく研究責任者にお伝えください。たとえお断りになってからも今後の治療において不利益を受けることはありません。

この研究について、心配なことや、わからないことがあれば、いつでも遠慮なく下記連絡先までお問い合わせください。また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産権の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

独立行政法人地域医療機能推進機構 星ヶ丘医療センター

〒573-8511 大阪府枚方市星丘 4-8-1

TEL (072) 840-2641 (代)

所属・職名 4 階病棟・副看護師長

研究責任者 大塚 陽平